

令和5年度 健康くまもと21推進会議 「第4次熊本市歯科保健基本計画に関する第3回策定委員会」議事録	
開催日時	令和5年(2023年)11月24日(金)13:30~15:00
開催場所	市役所 10階会議室
出席者	熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学講座:教授 中山秀樹氏【部会長】 熊本市歯科医師会:会長 渡辺猛士氏 熊本県歯科衛生士会:熊本市支部 監事 佐藤成美氏 熊本市歯科技工士会:専務 田上敬祐氏 熊本市地域包括支援センター連絡協議会:監事 永田智恵子氏 熊本市私立幼稚園・認定こども園協会:第2さくら体育幼稚園園長 中村好郎氏 健康まちづくりを推進する西区の代表:松尾西北地区社会福祉協議会会長 片山美智子氏
欠席者	熊本市小学校校長会:砂取小学校校長 竹原欣哉氏 熊本市8020健康づくりの会:会長 松本健次氏
事務局	健康福祉部:大林部長 健康づくり推進課:山下課長、迫主幹 口腔保健支援センター:山川審議員、中村技術参事、江頭主任技師、吉武技師
議事	議題 (1) 第3次健康くまもと21基本計画(素案)について (2) その他
配付資料	・次第 ・令和5年度 健康くまもと21推進会議 歯科保健基本計画策定委員名簿 ・第3次健康くまもと21基本計画(素案)概要(事前送付) ・第3次健康くまもと21基本計画(素案)(事前送付) ・差替資料 第4次熊本市歯科保健基本計画(案)

【内容】

1 開会

委員の紹介

2 座長挨拶 熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学講座 中山教授

3 内容

第3次健康くまもと21基本計画(素案)について

事務局から説明

事前質問に対する回答について

【委員からの事前質問】

・中学生・高校生の飲酒者や喫煙者の割合についてはあってはならないので興味本位で1回だけなのか、習慣になっていないかを学校側にフィードバックして見ていく必要があるのでは年単位で対策では遅すぎるのではないかな？

【事務局】国の参考指標であり、市独自ではとっていない。学校等との取組・啓発は今後も行っていく。

・熊本健康アプリを使っていますが、対抗戦について一人でやっている方は参加できませんので一人でやっている方達でチームを組めるようにできないでしょうか？

身近な人を誘って行うのが大切だと思いますが。

【事務局】現在アプリにその仕組みがない。想定していない。

・歯科保健部会で決めたキャッチフレーズ「～守ろう 未来の宝～始めよう フッ化物健口」を計画の素案に入れた方がいいのではないかな？パブリックコメントの際に市民の方の目に触れる機会があるので。

【事務局】計画への掲載について本日検討していただきたい。

【委員】

全般的にご意見をいただきたいが、まず、事前質問にあったキャッチフレーズ「～守ろう 未来の宝～始めよう フッ化物健口」を組み込むことから始めたい。

【委員】

P151の「フッ化物の応用」のどこかにと思っている。

【委員】

計画書を読んでも、下に余白があるページとないページが混じっていて、①などがページの最初にくるように作られている。

④の「フッ化物の応用」のどこかが良いか。私はP151の**フッ化物の効果**の上が良いかと思う。成果指標の表が大きいので、フォントや高さを変えて掲載できないか。

事前質問者のご意見を尊重したい。

【委員】

フッ化物のことなので、それ以外のページでは分かりにくいと思う。フッ化物のページが良いと思う。

【委員】

人間は写真や絵に目が行くので、洗口の写真のそばにキャッチフレーズがあるのも良いと思う。

キャッチフレーズを「フッ化物の応用」のページに記載することは皆さん了解ということでよろしいか。挿入についてアイデアはないか。③歯科検(健)診が前の方に行くとスペースが開くようだが、ページの真ん中になる。P156やP157の下に空欄があるのでもったいないとも思う。

全般的なバランスもあると思うので事務局の方でお願いしたい。

【事務局】

この素案は最終形ではなく、パブリックコメントを経て最終になったときに内容の配置等が決まってくるので、具体的なご意見をいただきたい。どこまで叶うかは不明だがデザインについてはこれからである。

【委員】

食の計画では、キャッチフレーズ（「食べることは生きること」）が2回ほど出てきて目に付く。フォントの大きさよりもキャッチフレーズが入っていることで目に付くのではないか。

【委員】

P93 や P95 にあるが、目に入ってくる。

【事務局】

成案になる段階で用語集はページの下部に入る予定で、事務局が作成した案を印刷会社が専用ソフトで行間などを調整する。2ページにわたるようであれば、イラストなどを入れて空白を使いたい。歯科の計画はページごとに1項目というような構成であるので、それを活かしつつ工夫をし、書き込みたいことを優先して計画に反映させていきたい。

【委員】

ページは増えてもいいのか。

【事務局】

増えすぎても困るが、計画に載る内容を削ることは考えていない。

【委員】

地域で歯周病のことを啓発したいと思って保健こども課からチラシをもらったが、その中に分かりやすいイラストがあったので、そういった図があると見やすいと思う。

【委員】

そのイラストは全身とのかかわりの中で皆さんがお口を重要だととらえる一番の仕掛けである。業者が初稿の段階で案をいただけたと思うが、スペース的にはページの2分の1から3分の1くらいほしいところである。

【委員】

キャッチフレーズについて何箇所か出してもいいのではないか。最初の看板として、そしてフッ化物のところにも出してい。

【委員】

P142 に入れてもいいのではないかと考えてきた。キャッチフレーズがあると目を引く。

先ほどのご発言のとおり何か所か出ると心に訴えかけるものはある。

「取り組むべき施策の方向性」の一番上の(1)は大事と思う。フッ化物が科学的根拠に基づくものなので①②③の下や、P144 の①むし歯のところはどうか。確かに何度か出すという仕掛けはよい。北欧などではフッ化物の効果について認知されて国策としてされているところに皆さんの知識が及んでいくきっかけになっている。①のむし歯のところに遠慮気味のものが入っていいし、大きいものはフッ化物のところに入るのと、もう一か所は「施策の方向性」のところ。私たちの目玉として目が行くほうがいい。

この案件についてはこの方向性でよろしいか。

➡異議なし

キャッチフレーズを盛り込むというコンセプトは今のような形で、業者からの校正などを確認していきたい。

そのほか事務局からの説明で委員からの意見はないか。

【委員】

目次でCKDが(慢性腎臓病)と(慢性心臓病)になっているところがある。

【事務局】

慢性腎臓病が正しい。

【委員】

各ページの〈主な取組〉の中で、漏れていないかという視点で見たい。まず、P146のむし歯での〈主な取組〉について4つ挙げてあるがいかか。

趣旨から外れるが、歯を失う原因①の円グラフで「歯周病 37.1%」の表示をもう少し真ん中に近づけてほしい。「破折」は一般的に知られている言葉か。読んで分かれるか。

【事務局】

文字を見ると、イメージは伝わってくる。医学的にこういうものだという定義があれば、下に注釈をいれるという対応はできる。

【委員】

骨が折れたら骨折だが、歯が折れたら破折という。

「破折とは歯が折れること」とどこかに脚注を入れるか。

【委員】

「埋伏」も分かりにくいのではないか。

【委員】

分かりにくいだろう。

【委員】

骨の中に歯が埋まっていること。「矯正」は矯正歯科医院があるので読めるだろう。

【委員】

矯正のための抜歯という意味か。

【事務局】

そのとおりである。便宜抜去を示すもの。

【委員】

「科学的根拠に基づくむし歯の発症予防というのはフッ化物の応用などをいう」という言葉をここに入れてはだめか。一般の方々に科学的根拠に基づくむし歯予防とは何かと思われる。フッ化物という言葉を使うのが難しいのか。

【委員】

8020財団のホームページにフッ化物でむし歯が減るという具体的な論文のデータを載せるといい

のではないか。

【事務局】

実際に効果があつてむし歯を発症していないということになると、論文が必要になる。新潟県の葭原先生や安藤先生の論文とか新潟県弥彦村の結果になるのかと思う。

【委員】

論文があつたほうがいいのではないか。

【委員】

どこかで強調したい。

【委員】

確かに。エビデンスということで入れたほうがいいと思う。

主な取組について過不足はないか。思いつくものがあれば後ほどお知らせいただきたい。

続いて②歯周病の主な取組について。

「ライフステージの特性に応じた切れ目のない歯周病予防に取り組めます」これは先ほどのむし歯の項目と重なる。

「歯周病と全身疾患の関連及び喫煙による歯科疾患への影響に関する啓発を強化します」これに関連して先ほどイラストをどこかに入れるとより良いというご意見だった。

【委員】

イラストはあつたほうが分かりやすいと思う。2人に1人が歯周病をもっていること、歯周病が原因で歯を喪失すること、歯周病からいろんな病気が発生していることが視覚的に分かりやすい。

【委員】

これについても8020財団のホームページできれいにまとめてくれているのでそれを入れ込めれば良いと思う。

「こどもの頃からの歯周病予防のための歯みがき習慣の定着を図ります」「節目年齢歯科健診などを契機に、定期的な歯科検(健)診の受診勧奨を図ります」についてのご意見をお願いしたい。

【委員】

40歳には通知をしたため歯科健診の受診率が上がったと聞いたが、ほかの年代には通知を行っているのか。

【事務局】

今年度は対象となる全世代に通知を送っている。昨年度は個別通知をしておらず、個別通知の効果を図るため40歳を対象に送付した。直後から受診率が上がった。

【委員】

個別通知で受診勧奨をするということを具体的に書いてあると良い。

【委員】

具体的な表現が計画にあつたが良いということか。

【事務局】

節目年齢歯科健診は10年に1回勧奨するものなので、それぞれ該当される方が行っていきたい

てそれを契機にかかりつけ歯科医を持って続けていただくというところ。

【委員】

10 年に 1 回歯科健診に行きなさいという意味ではなく、かかりつけ歯科医を持ってくださいということ。

【委員】

10 年に 1 度、40 歳、50 歳 60 歳、70 歳の方には受診勧奨しますのでぜひかかりつけ歯科医を持ってください、みたいなことを書いても良いか。

【事務局】

そういう意味合いで啓発を図りたいと考えている。

【委員】

次に「20 歳代、30 歳代にも定期歯科検（健）診の必要性を啓発します」について、これは具体的にどういうことか。

【事務局】

歯たちの健診を実施しているのでもいろんな場で歯科健診を定期的に受けることを啓発したいと考えている。

【委員】

「高齢期においても8020達成、低栄養予防、誤嚥性肺炎予防の観点から歯周病予防の啓発を強化します」

ちなみに P148 の下に歯周病と全身疾患の関連性があるのでこの辺に絵が入るといい。先ほどの主な取組のところよりここに入るのが良いだろう。

そのほか皆さんいかがか。

以前、歯科医院での無料歯科健診のカードがあったが、それをここに載せることはいかがか。

【委員】

無料歯科健診のカードは現在実施していない。

【委員】

続いて③歯科検（健）診について。

「セルフケアに加えて、かかりつけ歯科医で定期的に歯科検（健）診と専門的ケアを受けることの必要性を啓発します」

「妊婦歯科健診の受診率向上のため親子（母子）健康手帳発行時や医療機関等における啓発を強化します」

親子（母子）健康手帳発行時は「タイミング」で、医療機関等は「場所」であるので文章的におかしくないか。

「親子でかかりつけ歯科医をもつために、こどものむし歯予防と併せて保護者等へ歯科検（健）診の必要性を啓発します」

「20～30 歳代に対し、大学、企業、職域等と連携を図り、歯科検（健）診を受ける必要性を啓発します」ここで「職域」という表現は良いのか。皆さんお分かりか。

【委員】

馴染みのない言葉である。

【委員】

行政では使う言葉か。違和感があればほかに意図する言葉にかえていただきたい。

「高齢期におけるオーラルフレイル・口腔がん・骨粗鬆症患者の顎骨壊死を予防するため早期から定期的に歯科検（健）診を受ける必要性を啓発します」

「予防するため」の後に「、」があったほうが良いかもしれない。

【委員】

啓発という言葉が並んでいるが、啓発のやり方が具体的に出てこない。口で言うのは簡単であるが、何かこれはやるというものはないか。

【事務局】

具体的にそのための事業ということではなく、これから構築していかなければならないと考えているが、各区役所保健こども課が取り組んでいるような歯科健康教育やいろんな場に出かけていくこともあるので、様々な場所で啓発することを考えている。

【委員】

出て行ってということだが、そのことはどこかに書いてあるのか。

【事務局】

細かく挙げていないが、P154・155の「具体的な取組」の一覧に掲載している。

【委員】

歯科衛生士会でビデオやDVDをつくられているが、あれはYouTubeにもあげてあるのか。

【委員】

こどものむし歯予防の動画はYouTubeにあげている。

【委員】

先ほどのむし歯予防の取組に動画が見られるように二次元コードを掲載しておくと思う。みんなスマホを持っているので、かざすと見ることができる。具体的な取組とおっしゃったので、具体的に知りたいという方は二次元コードがあるとそこで分かると思う。

【事務局】

市ホームページにはむし歯予防などの啓発は掲載している。計画が12年間ということであるので、その間に内容が変更になると計画に掲載していたものが見られなくなるという不都合も生じてくる。市ホームページやSNSでお知らせすることを考えている。

【委員】

YouTubeにあげるときもいろんなところからご意見いただいて変化していくものもあるので、長い計画書に載せていただくのは少し不安に思った。主な取組として啓発が出てくるが、本会としてもその取組をみながら協力できるもの、先ほどのDVDをYouTubeにあげたり、歯周病のチラシの作成に取り掛かっているのもそういうかたちで協力できればと考えている。具体的にこれというものはなく、こういうことに基づいてこれをするという感じ。

【委員】

普遍的に変わらないものは載せてもいいのではないかと考えている。例えば、厚労省のページで口腔の健康に役立つ情報に誘導をする仕掛けをつくるという意味である。二次元コードがあればすぐに見ることができる。

【委員】

歯科衛生士会で作成する歯周病のチラシの中にかかりつけ歯科医を持ちましょうというものがあり、市歯科医師会のホームページの歯科医院一覧を二次元コードにして掲載してよいか。どの歯科医院に行ったらいいかわからない方にお知らせができる。

【委員】

市歯科医師会ホームページを使っていただくのは構わない。新しい歯科医院は更新される。

【委員】

フッ化物洗口について一言言おうと思って資料を持ってきた。私は私立幼稚園・認定こども園協会の代表であるが、フッ化物洗口について当園はやっているが、46 園中でやっているのはわずか片手に入るくらいである。フッ化物洗口しましょうという資料を作り、実際に当園で実施している方法を紹介した内容のものを先週配った。表には 8 月の策定委員会で分かったこと熊本市が指定都市の中でこどものむし歯が多いことについて数字を入れて書いている。他の委員からのアドバイスも入れている。当園の歯科健診の結果も入れている。少しでもフッ化物洗口の取組が進めばと思っている。

【委員】

マスメディア、テレビなどの活用はできるのか。健康に関する枠はないのか。

【事務局】

市政放送番組は持っている。それほど枠があるわけではないが、申し込んで採用される。

【委員】

ある番組を見て歯みがきの順番を変えたり、歯周病の番組も見参考になった。自分は大丈夫と思っていたが、説得感を感じるので映像を活用できるのであればと思う。

【委員】

資料に戻って P151④フッ化物応用について

「フッ化物の正しい知識について啓発します」

「定期的（年に 2 回以上）にフッ化物塗布を受けることの必要性について啓発します」

「フッ化物洗口を実施する保育所等の増加に向け、集団フッ化物洗口の意義や効果に関する啓発の強化に取り組めます」

「小学校におけるフッ化物洗口の実施学年の拡大を目指します」

「根面う蝕予防のため、成人及び高齢者に対してもフッ化物利用を啓発します」

お許しがあれば、先ほど委員から紹介があった園におけるフッ化物洗口の取組に飛べたらいい。

皆さんからのご意見がなければ、P152①不良習癖と不正咬合^{ふせいこうごう}の主な取組について

「口呼吸や指しゃぶり等の習癖が不正咬合や口腔機能の獲得等に影響することの知識の普及啓

発を図ります」

「幼児健診時など、不正咬合に対する正しい知識と不良習癖に対する助言を継続します」

皆さんのご意見が無ければ、次の咀嚼^そについて。

「若い世代や働き世代に対する歯の喪失防止の啓発を強化します」

「乳幼児期から咀嚼機能の獲得など食育と連携した取組を推進します」

「よく噛んで食べることの重要性について啓発を強化し、噛ミ^かン^{さん}グ30を推進します」

噛ミ^かン^{さん}グ30の説明は無くても大丈夫か。

【事務局】

注釈をつける。

【委員】

30 回噛むのか、30 秒噛むのか、どちらなのか。

【事務局】

30 回噛むこと。

【委員】

PI53③オーラルフレイルの主な取組について

「オーラルフレイルという言葉の意味を若い世代にも周知します」

オーラルフレイルについてかっこ書きで説明を入れてもいいのではないか。

「フレイル予防に関する健康教育の中でオーラルフレイルについて啓発を行います」

「食育や口腔機能訓練等の歯科保健指導等に取り組み、オーラルフレイル予防に関する啓発活動の充実を図ります」

「後期高齢者歯科口腔健診は単におし歯や歯周病の有無を調べるだけではなく。オーラルフレイル予防のために実施していることの周知を強化します」

オーラルフレイルについて 8020 財団のイラストを入れることはできないか。イラストがあると分かりやすい。

そのほか全般、皆さんから意見はないか。

成果指標についても再度お目通しいただきたい。

【委員】

PI60 の目標値は変えられないのか。特に 16 番節目年齢歯科健診受診率、20 番後期高齢者歯科口腔健診受診率が他と比べてかなり低いのでどうしてかと思う。

【委員】

現状値が低いのでなかなか難しい。

別途我々（歯科医療従事者）が集まって事務局と現実的な数字を落とし込んだ。

【委員】

12 年後と言われると、確かに低い。

【委員】

50 パーセントいけるか。

【委員】

50パーセントは行きたいところだが。

【委員】

1年に1パーセントとあがるとすると、R17年度に13パーセントになる。

【委員】

そうなりたいところではある。目標が低すぎると言われれば反省するところではある。

【委員】

国のデータがあるときはそこを少し上回るようにして目標値をつくってきたが、ここでは何かあるか。

【事務局】

他都市の受診率を見ると、歯周病検診については10パーセントで高止まり、それ以上の伸びが厳しい状況を呈しているので、この間の話し合いでお諮りしたところである。後期高齢者についても同様で、当課だけではなく国保年金課ともからんでそちらの設定もあるので同じようにしている。現在が1パーセントなので、4.5 から5パーセントにまずは目標設定にしている。一足飛びに上がるとありがたいことだが、なかなか難しい。すでに定期的に歯科健診を受けている後期高齢者の方もいるというのもあるので、その辺がどうかかわってくるかというのもある。

【委員】

まずはクリアできそうな目標設定としている。

ということで、審議時間内で皆さんにはご意見を頂戴できたかと思う。活発なご意見ありがとうございました。

4 閉会